

# 石狩の作品集

2020 第25集





## 『石狩の作品集 第25集』に寄せて

石狩教育研修センター教育研究所  
所 長 浅 田 眞

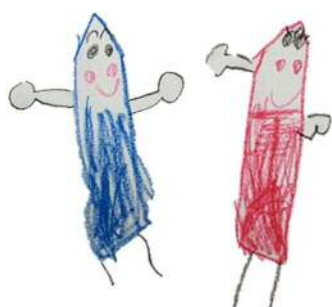
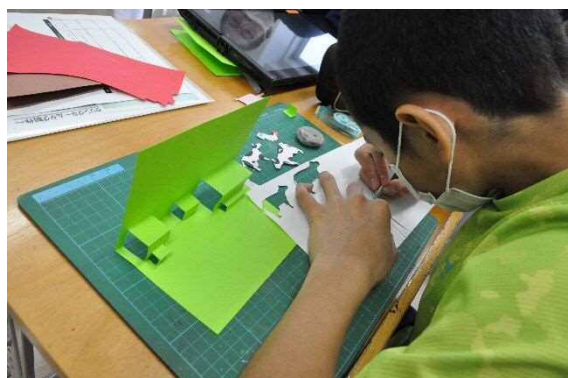
今年は新型コロナウイルスの感染拡大により、各学校において、様々な教育活動が中止や延期になりました。図工や美術の授業でも作品作りにかける時間が減ったり、学芸会や学校祭でも感染リスクの高い共同制作が行われなかったりすることもあったと思います。ご指導いただいている現場の先生方のご苦労も多かったと推察します。そのような中でも「石狩の作品集 第25集」を刊行することができました。

さて、様々なとらえ方があると思いますが、「良い作品」というのはどのような作品でしょうか。「本物そっくりにできている」、「丁寧にきれいにできている」、これらも良い作品に違いありません。ただ、そうではなくても「課題に向かって粘り強く取り組んでいる」、「自分の思いを表現しようとしている」、「人とは違った考えや視点で作品を作ろうとしている」ものも間違いなく良い作品です。制作過程や、思い、考えなどは、作品を見ただけではなかなかわかりません。

この作品集には、作品だけでなく、一つ一つに「子どものことば」「教師のまなざし」が書かれています。そこから作者の表現したかったことやその作品への思い、指導者として制作の過程に携わった先生だからこそわかる作品の良さが伝わってきます。

今年は管内の教職員が一堂に会する石教研の専門部会第二次研究協議会が中止になりました。この作品集の編集に携わっていただいている図工・美術部会の研究協議会では、例年、研究授業と作品交流を行っています。特に作品交流では、全会員が子どもたち作品を持ち寄り、指導者は「どのような指導をしてそれらの作品ができたのか」「制作過程での子どもの様子」などを説明します。それに対し、会員同士で感想を言ったり、助言したりして、時間が足りないくらい熱い話し合いが行われます。研究協議会がなくなった今年は、今まで以上にこの作品集が石狩管内の図工・美術教育の質的向上に資するものだと思います。

終わりに、ご指導いただいた先生方、編集に携わっていただいた委員の皆様、部会役員、部会員の皆様に感謝を申し上げ、発刊の言葉といたします。





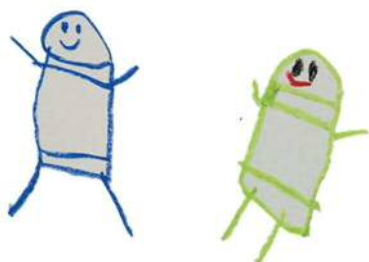
## 「幸せを運ぶ図工の授業を」

石教研図工美術部会  
部長 千葉 道子



約二ヶ月の休校となった今年度。どの学校においても、授業の遅れを取り戻すために必死になりながらの一年間を過ごしてきたことと思います。そのような中、今年度も『石狩の作品集』を刊行できる運びとなりました。石狩管内の子どもたちの作品をこうしてたくさんの方にお見せすることができ嬉しく思います。

冬休み前のこと。四年生の娘が「明日、図工で『幸せを運ぶカード』を作るの。お友達にあげるんだ。」と話してくれました。そう言いながら、裏紙を使って飛び出しかけの構想を練っていました。次の日、完成したカードをお友達に渡すことができた嬉しそうに帰ってきました。娘もその子からカードをもらうことができ、大喜びで飾っていました。その出来事から数日後、今度はその子のお母さんから「素敵なカードをありがとう。心がこもっているのが伝わってきた。」とうれしい言葉をいただきました。こうして、図工の時間に取り組んだたった1枚のカードは、温かな幸せを我が家に運んでくれました。



娘の作ったカードも、娘がもらったカードも、美しい風景を描いていたわけでも、写実的な絵を描いていたわけでもありません。ただ、「カードを開くと握り合った手が起き上がるように工夫して、ずっと友達でいたいというカードを作った」そうなのです。



このやりとりを通して改めて感じたことは、『作品』の出来ばえだけにとらわれてはならないということです。その子の感じたことや考えたことを表現したときに、それが他者に『心のこもった』と伝えられることこそが図工美術の真の価値ではないでしょうか。子どもの『心』まで見える教科は他にはありません。この出来事を通して、とても大切なことを再確認することができたとともに、自分もそんな素敵な授業をしたいと感じました。

この作品集にはそうした子ども達の『思い』と、指導された先生方の『熱意』が詰まっています。その一端を、ページをめくる度に感じてもらいながら、指導力向上の研修資料として活用していただければ幸いです。最後になりますが、刊行にあたりたくさんの部会員の先生方の力をお借り致しましたことに深く感謝申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。





北広島市                      1年

題名：すごいかたつむりがやってきた!!

◎ぼくが描いたかたつむりは、子どもが大好きです。そして、すごく大きくて、いろとりどりのかっこいいかたつむりなので、『すごいかたつむりがやってきた!!』という題名をつけました。

◎「おはなしからうまれたよ」という題材の作品です。かたつむりの殻に描いた絵や色は、クレヨンを使い、細かいところまで、ていねいに仕上げました。初めて挑戦した絵の具の学習では、筆づかいを工夫しながら、きれいな青空を描くことができました。みんなが笑顔になれるすてきな作品です。



江別市                      1年

題名：みんな なかよし

◎ペンギンがスイスイおよいでいたよ。フラミンゴがじょうずにかた足で立っていたよ。アライグマがはっぱをたべていたよ。みんななかよしだったよ。またいきたいな。

◎入学して初めての学校外での学習で動物園に行きました。幼稚園の遠足とは違うのだと「目のカメラ」に動物の様子を焼き付けて「楽しかった」思いを元気いっぱいに描きました。



石狩市  
題名：ぼくのえがお

1年

◎1年生のペンキょうが、とってもたのしかったから、えがおのぼくがいるんだよ。かおとか、かみのけが、ぼくにそっくりできたと思うよ。クレヨンのかさねぬりがとってもたのしかったよ!!

◎くんのお気に入りの「青いメガネ」がとってもいいね!! さいしょは「メガネはむずかしいから、かけそうにない・・・」って言っていたけれど、すごくうまくかけたよ。くんのこうかいなわらい声が聞こえて来そうだよ。



恵庭市                      2年

題名：お母さんと妹と犬のララと散歩へ行ったらよ

◎おさんぽにいったら妹がないちゃって、犬のララがだいじょうぶと声をかけているように見えて、わたしは心の中で「ララえらいぞ」と思いました。

◎ララを囲んで3人で散歩に行ったときの様子を、細かくねん土に表せましたね。ララを見る姫那さんの表情と、背中においた手から、さんがララを大切に思っていることが伝わってきます。



恵庭市

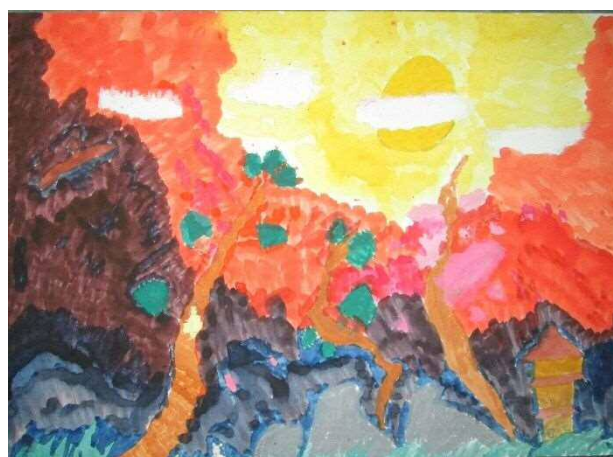
3年

題名：大工こびと

◎ぼくが作ったこびとは、学校の山で仕事をしています。2人いて、一緒に木を運んで、マイペースに働いています。いつも楽しそうにしています。こんなこびとがいたらいいと思います。色もきれいにぬることができました。

☺自分で考えたこびとを、形にできたことがすばらしいです。

くんと、完成したこびとを、すみかに置きに行ったときは本当に驚きました。『大工こびと』がいきいきと仕事をはじめたからです。学校のつき山に住んでいる2人のこびと…。わすれられないすてきな作品を生み出してくれました。



当別町

3年

題名：セミがなく

◎「閑かさや 岩にしみ入る蟬の声」の俳句をよんで、静かな森の場所やセミのなきごえを想像してかきました。工夫した所は、人があまりいない森の中で、木を下から上を見上げるような感じにしたところです。

☺よく家族で山にキャンプに行く、さんならではの視点で描かれていると感じます。下から見上げている構図や、森の奥深い雰囲気が色使いと筆のタッチでうまく表現されています。



当別町

3年

題名：風でとんでる野原の葉

◎拾った葉を風でとんでいるように貼るところを頑張りました。大きいのか小さいのなどいろんな大きさと形を組み合わせ、風を意識して向きをそろえました。葉の色をイメージしたいろんな緑色をつくり、葉のまわりにぬったところも、風の流れを感じられるといいなと思いました。

☺大小様々な葉を配置することで、奥行きが感じられます。また、たくさんの葉がふってきているようにも見えます。混色しただけではなく、色を重ねているところが透明感のある風を感じさせる気がします。なんだか葉が楽しそうに踊っているようですね。



北広島市

4年

題名：コロコロコースター「花の楽園」

◎まっすぐの道はつまらないので、スタートをグルグルにしたり、針金にビー玉が当たっていい音を出したりしました。支柱につめたお花紙とゆかの花もようで、「花の楽園」にしました。

☺丸い筒を横にして、お花紙が見えるようにしたり、いい音を鳴らしながら、ビー玉が転がっていったりと、目と耳を楽しませる工夫がいっぱいで、遊んでみたい気持ちにさせられますね。

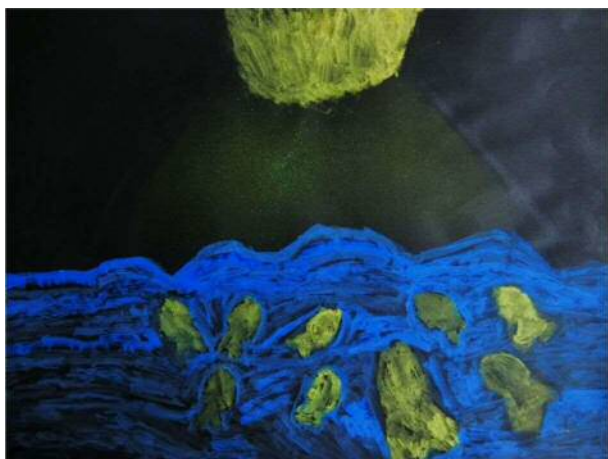


当別町 5年

題名：校舎の絵

◎1番工夫したところは、窓に白い絵の具をぬって光の反射を表したところです。他にも、校舎の壁と空の色が重ならないようにしたところや、窓わくは色ぬりのことまで考えて太めにデッサンしたところです。むずかしかったところは、デッサンと空の色です。垂直や平衡を意識するのが難しかったです。空の色は白を使わずに水だけで調整しました。その調整が大変でした。

●夏の暑い日・・・グラウンドで集中してデッサンをしていたさん。画用紙を見つめ、次は校舎を見上げて、描いては消し、描いては消しのくり返し。校舎をよくとらえています。着色するときは、色を決定するまでじっくり考えていました。そして、細かいところにていねいに筆を入れ仕上げました。悩みながらも出来上がりを楽しみに頑張った校舎の絵。      さんにとって大切な1枚になりましたね。



石狩市 5年

◎月の光に集まってきた魚をイメージして描きました。月の光はスパッタリングで表しました。波は本当に揺れているように描きました。

●詩を聞いてイメージ通りに描けたのですね。限られた色数ですが絵の具の濃淡で夜の海の様子が伝わってくるようです。



恵庭市 5年

題名：小鳥と森の仲間たち

◎糸のこぎりで自由に板を動かしながら切ったら、鳥のような形ができました。組み合わせ方やいろんな色を使って、小鳥と木がしゃべっているようにしました。

●初めての糸のこぎりの制作でしたが、板をくるくる回しながら不思議な形を切ることを楽しんでいました。カラフルな色使いが、さらに楽しい雰囲気を生み出し、笑顔にさせられます。



当別町 6年

題名：太美駅

◎私は、太美駅をかきました。私が特に意識して表したかったのは、駅の立体感です。階段のでこぼこやガラス、ドアの裏などを工夫して、本物らしく表せたと思います。他にうまくかけた所は、空の雲です。雲の外側の青を濃くしました。かきたいようにかくことができました。

●さんは普段から何事にも真剣に取り組み、ていねいな仕事をする子です。今回の絵でもそれは同じで、駅前を下書きをかいているときから、よく見て、何度も書き直しながらねばり強くかいていました。色付けでは、濃くなりすぎないように気を付けながらも、メリハリのある絵に仕上げることができました。



題名…大きなひまわり

千歳市

2年

☺とろとろのえのぐで、花びらを一まい一まいいねいにかきました。ひまわりのたねのぶぶんも、よくみてかきました。  
☺ひまわりの大きな感じを表すために、筆を大胆に使って花びらや葉を描いていました。とくに、とろとろ絵の具のかたさを生かし、質感をうまく表現しようとしていました。



恵庭市

3年

題名：森のひょうほん箱「巨大キリリ」

☺木と木をつけるのがむずかしかったです。とくに、足やかまをつけるのが苦労しました。上手く立たせられてうれしかったです。目が星みたくなってるよ。  
☺普段から物作りが大好きなくん。図工の学習になると、いつも目を輝かせています。枝の組み合わせを試行錯誤しながら楽しそうに制作していました。大らかなカマキリを躍動感いっぱい表現できました。

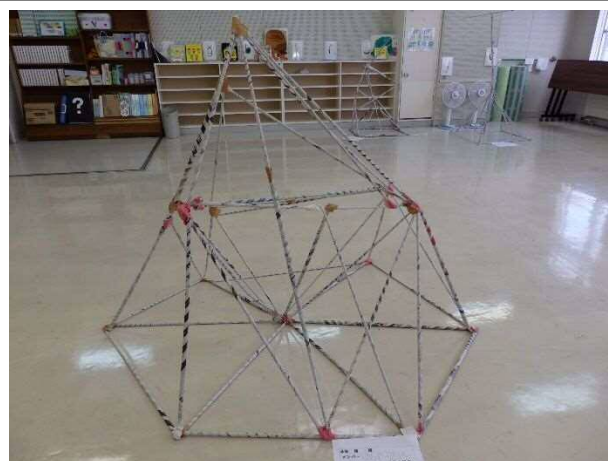


千歳市

4年

題名：キャンプ

☺空手の練習の後に、おばあちゃんの家で、空手の友だちとキャンプをしました。みんなでトランプをしようと決めて遊んだことが、いちばん楽しかった思い出です。  
☺友だちと肩を寄せて、トランプをした時の思い出を、上から覗き込んだような目線で描き、楽しそうに遊んでいることが伝わる絵になっています。



北広島市

4年 共同制作

題名：つなぐんぐん「ふしぎなテント!!!」

☺4人が入れる大きさにするために、折れないようにきつく紙を巻いて棒を作ったり、2本の棒を重ねてつないだらしました。がんばりにできましたし、みんなで入れてよかったです。  
☺がんばりに作るために、みんなでアイディアを出し合って、ワイワイ楽しそうに作っていました。本物のテントみたいな大きさになって、みんなで中に入って大喜びでしたね。



恵庭市

1年

題名：こんな靴ならがんばれる

- ◎自分の好きな色にし、線を描いて走っている感じにしました。こんな靴ならがんばれるように描きました。
- どんな靴で自分が歩いたら元気がでるか考えてもらいました。しっかりとした靴のラインが、力強くさまざまな事柄に向かっていけそうな雰囲気を出しています。また、靴の歩く方向を示している荒削りの線は、わざとかすれを出し、絵の表情を豊かにするものとなっています。見るものに勇気を与えてくれる作品です。

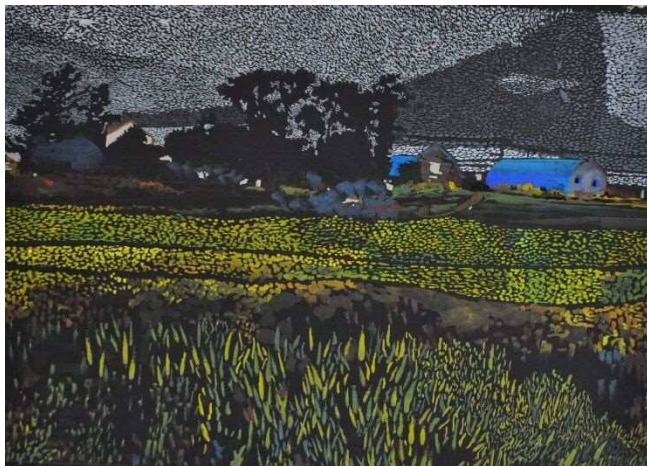


新篠津村

1年

題名：プラ板ネームタグ

- ◎ゆめかわいい感じをイメージして作りました。ほぼ4色でまとめて、テーマがずれないように作りました。
- 作品をまとめる用紙の配色、デザインまで統一されていて、「こうしたい!」と思うイメージに、できるだけ近づけようとしたことがうかがえます。制作の際には、表現したいイメージをしっかりと持ち、すぐく生き生きと制作しているのが印象的でした。



千歳市

1年

題名：屋敷林のシルエット

- ◎自分が住んでいる景色を絵に表しました。空と畑に挟まれるように建っている家や納屋、林を意識して描きました。空と畑の点描や色の違いを意識して描きました。
- 紙に黒いジェッソを塗り、それにポスターカラーの点描で描きました。ものの違いや距離を意識させて描くように話しました。

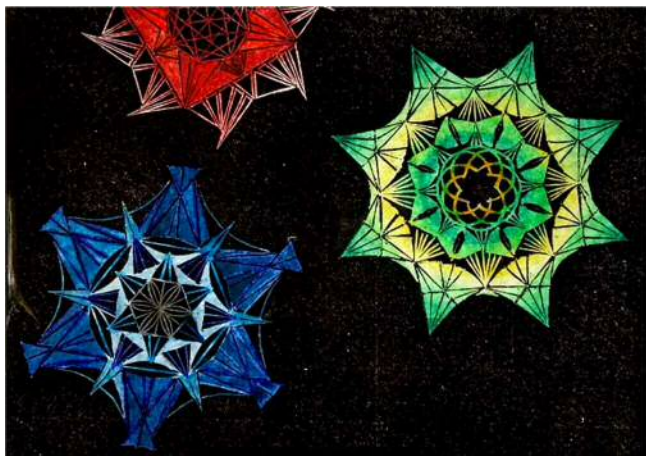


恵庭市

1年

題名：文字のデザイン

- ◎私はウツボの双子が好きでこの漢字を選びました。工夫した点はウツボに関係する生き物のエビとタコを入れたことと、生き物には陰影や光、背景をグラデーションにしたことです。
- 海の生き物を一つ一つ丁寧に描いています。また、ポスターカラーの特性を生かし、むら無く彩色しています。背景をグラデーションにしたことによって海の深さが表現され、美しい作品になりました。



北広島市

2年

題名：版画による曼荼羅アート「トゲトゲ」

☺曼荼羅アートですが、円で終わらず、放射物状になるように描きました。三角を多く利用してトゲトゲのように表現し、雪の結晶のようにも見えるデザインになりました。

☺一つのデザインを図案化させるまでに、十分な時間をかけて練り上げていました。また、版木を彫る作業では、線の太さや面の広さに緩急をつけたり、彩色の際には同色でも濃淡の変化をつけたりと、細部への追求を最後まで行って制作していました。



当別町

2年

題名：ミラーボックス「猫の城」

☺箱を覗くと、猫たちが住む城を見ることができます。裏表で違う猫の絵を描いたこと、窓から入ってきた葉が浮いているように見せたことなどを工夫したのでぜひ見てください。

☺鏡の角度や物を配置する位置、やわらかい雰囲気にするためにはどうやって着色するかなど、何度も試して、内部のすべての物が良く見えるようこだわって制作していました。



江別市

2年

題名：フェニックス

☺体温が高く、触れただけで灰になってしまう。メスは青色でオスは赤色です。針金の軸を作るのに時間がかかり、羽を作るのが難しかった。顔の形が難しく何度も失敗をした。

☺ただの新聞が、試行錯誤を重ねていくうちに、こんなに躍動感のある作品になるなんて素晴らしいですね。今にも飛びそうな勢いです。羽の形も美しい。



新篠津村

2年

題名：オリジナルキャラクター「たしゅみん」

☺自分の好きなものを詰め込んだようなキャラクターを作りました。名前は「多趣味（たしゅみ）」からとって、「たしゅみん」にしました。ゴチャッと感を出したかったので、周りにはカラフルに、キャラ自体はシンプルにする工夫をしました。

☺好きなものをたくさん詰め込みたい！という作者の気持ちがビシビシ伝わってきます。お布団のめくれあがってる感じ、その下にも物がある感じもリアリティがあっていいですね。



江別市

3年

題名：ウォーターワールド

◎この作品は、重力の定まらない世界で飛び交う水をテーマにして描きました。青色などを使うことで少し優しい、リラックスできるような雰囲気を表現できたと思います。

◎エッシャー的な画面構成の中に、2年生の文字絵表現の際に会得した水滴の質感表現技法を効果的に生かして表現しています。色相を敢えて青一色に統一しています。資料画像も準備し、よりリアルな表現を追求できました。ポスターカラーの絵具を上手く使いこなしています。



千歳市

3年

題名：私の幸せ

◎楽しいことをしている時や、うれしいことがあった時、頭の中がカラフルな楽しい感じになったと思うのでそれをうまく表現できてよかった。

◎カラフルな感情を見ていると 君が人生を楽しんでいる感じがします。美術の時間はいつも没頭していて、制作中はひらめきや発見で頭の中がこんな感じになっていそうですね。



題名：プッシュステンドライト「ひまわり」

当別町

3年

◎ひまわりの花びらを細かくしたところを工夫しました。朝は鮮やかな色、昼は濃い色を使って、左右で別の時間のひまわりに見えるように色合いを考えて作りました。

◎喜怒哀楽の「楽」をテーマとした作品で、朝晩ではなく朝昼にしたことで、明るい雰囲気が出ています。配色を工夫しながら、細かい絵柄を最後まで丁寧に仕上げていました。



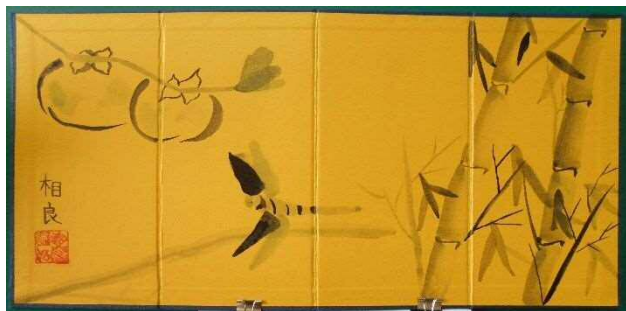
千歳市

3年

題名：学校の樹

◎中学校にはシンボルとなっている大きな柏の木が立っている。学校の土地を寄贈された方の願いで、この木は残された。父もこの柏の木の下で、色々な活動をしたそう。父のいたころは、ホタルも飛び回り、きれいだったそう。これからもこの木を大切にしたい。

◎柏の木の下でホタルが光っている様子を絵にするために、夜の時刻を想定して描きました。大きな柏の下で花が咲き、木に育まれているような様子を考えました。



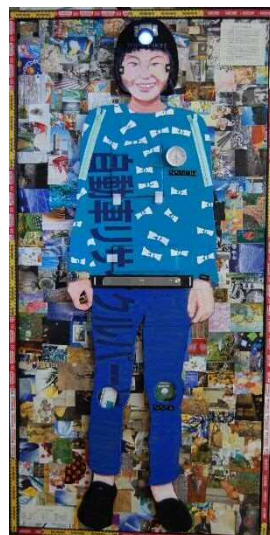
恵庭市

3年

題名：金屏風 「青竹蜻蛉肌柿鮮見想秋図屏風」

◎竹・柿・蜻蛉という一目でわかる秋三昧を描きました。風に対して蜻蛉を逆方向に飛ばすことによって、未来に向かって勇気を持って生きていこうという思いを込めた。秋の風景が想像できるように余白を配置した。

◎コロナ渦のため制作・制作の交流ともに短時間で取り組ませている。鑑賞も美術室ではなく別の教室で距離をおき、時間差で行った。この生徒は制作だけでなく、級友の作品鑑賞でも墨色、運筆の個性に感動し、楽しんでいる。その後には自分の作品を見直し、次の制作への意欲を見せている。



題名：アオイちゃん2号

千歳市

共同製作  
(1～3年)

◎1年生の ちゃんをモデルに「アオイちゃん2号」を想定して作りました。アンドロイドロボットですが、「取り扱い説明書」を作りました。少し人間くさい特徴やリサイクルに対する警告と啓発も含んだものとなっています。モデル本人のほうがかわいいです。(大きさ 177cm×88cm)

◎大きな段ボールは自動車のリサイクルパーツの段ボールを使用し、字を残しました。胸やお腹の扉を開けると、ディスプレイや基盤が見えるようになっています。また取り扱い説明や主要諸元表も貼ってあります。膝には、リチウムイオン電池やハードディスクが埋め込まれていて、クリアファイルの透明シートから透けて見えます。



江別市

3年

題名：夢の中

◎ジブリの千と千尋を見た時に、時間や季節が混ざっている場面があって、そのシーンや設定が好きだったので何となく入れたいなと思って入れました。あとは自分の描きたいものをたくさん入れました。以前アクリルガッシュで絵を描いている人を見て、それが素敵だったので人を描きたくなって少し頑張りました。

◎透視図法を生かしつつ空想も交えた作品を描く、という題材でした。画用紙のサイズはあまり大きくはないのですが、随分と様々な要素を入れつつ一つの作品世界を作り出しています。もっと大きな画面で時間をかけて描いてみる機会があればいいですね。



石狩市

3年

題名：社会問題を考えて「依存」

◎人は様々なものに依存します。過去、恋人、家族、自分、趣味・・・。その中でも近年問題になっている「スマホ依存症」を題材にしました。できるだけ気持ち悪く作ったので、「もう見たくない。」と思っていただきたいです。この作品を通して、依存しているということがどれだけ醜く、美しくないか考えていただきたいと心から願っています。

◎日頃から物事に対して深く考えることができるので、この社会問題の題材についてはすぐにアイデアが浮かんでいました。本人のコメントにもあるように、とても重要で怖い社会問題だということが伝わる作品になったと思います。



恵庭市

1年

題名：そらいろの たね

◎「そらいろのたね」のお話で、みんなを追い出したあと、きつねが一人である時に大きな家が崩れていくところをかきました。

●動物たちで賑わったたくさんの窓と、我がものの顔のきつねの様子を大きくしっかり表現することができました。塗り方も丁寧で、とても感心しました。



恵庭市

1年

題名：ねこをみたよ

◎ねこにぴったりの形の紙を見つけました。ねこがにげないよにひもを持って、らなが木のかげで休んでいます。水色にぬったのが水で、白でぬったのがミルクです。

●新聞でいろいろなちぎり方を楽しみました。長い所をしっぽに、短い2本を耳に見立て、かわいいねこちゃんに仕上げました。アイディアと笑顔があふれる時間でした。



題名…えがおのぼく

石狩市

1年

◎まずねー、うまくいったところは「かみの毛」だよ。一本一本、生えてくるようにかいたよ。わらったときにできる「しわ」もかいたよ。とってもうまくできたよ!!

●くんのえがおがとってもステキだね。白い「は」がバッチリ見えて、すごく良いよ!先生は、くんのにっこりえがおが大すきだよ!!



題名…えがおのわたし

石狩市

1年

◎たのしいことを思い出して、かがみのまえて「にこっ」とわらってみたところですよ。わらったときには目がほそくなるところや、口があがったところがうまくいったよ。かみの毛も一本ずつかいたところがたいへんだったなあ・・・。

●さんのわらっているかおが、とってもチャーミングでステキだね!!このさくひんを見ていると、先生まで「ニコニコえがお」になっちゃうよ。



恵庭市                      1年

題名：ぼくの ごちそう！

◎みかん、カレー、おすし、ショートケーキ、ハンバーグ、ホットケーキ、さくらんぼケーキ、みんなぼくの大すきなたべものです。つくるのがむずかしかったけど、たのしかったです。ねんどがふわふわで気持ちよかったです。どれも、おいしそうにつくれました。

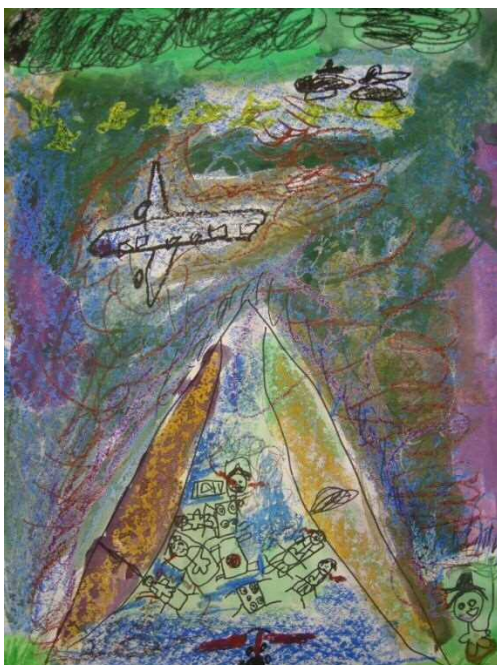
●紙粘土に絵の具を混ぜるときは、ワクワクドキドキ、本当に楽しかったです。食べ物の色にそっくりになるように少しずつ絵の具を足していました。たくさんの食べ物を2時間で集中して作りました。



千歳市  
題名…友だちの顔  
2年

◎友だちそっくりにかきました。かみの毛を一本一本かきました。目の中には光をかいいて、くわしくかきました。めがねがむずかしかったです。

●黒目の様子や光、まつげなど、友達の「目」をよく見て描き表すことができていました。また、肌の色も筆の方向を考えながら工夫して着色することができました。



北広島市  
題名…キャンプの夜  
2年

◎楽しかったキャンプの夜。生き物がいるかもしれないと、ドキドキしました。飛行機やヘリコプターも飛んでいました。いろいろな音がする不思議な世界を絵にしました。

●描き方に深みがあるととても目を引く作品です。空の色や線がたくさん重なっていて、独特な夜の空気やドキドキしている心の様子がよく伝わります。



千歳市                      2年  
題名：食べられそうなスイミー

◎スイミーのお話を読んでかきました。スイミー達が大きな魚に食べられないように、みんなで力を合わせて大きな魚になって立ち向かっているところです。

●歯をむき出しにしている1匹の大きな魚に対して、笑顔を見せながら立ち向かう小さなスイミー達。対になる様子や思いが表現されていて、おもしろい作品になりました。



当別町 3年

題名：二つの菜の花畑

◎「菜の花や 月は東に 日は西に」の俳句をよんで、花畑の様子をかきました。菜の花畑の夕方に月と太陽が同時に出ていたら、こんな感じなのかなと想像しました。工夫したところは、夕日の所は、色をこくしたりうすくしたりしたところです。夜の空は、空が高くなるほどこい色になるようにしました。

🍎 さんの家の近くは畑が広がっていることもあり、綺麗な夕日や月をみることが多いようです。月と太陽が同時にある不思議さと、その美しさを丁寧な筆使いで表現しています。空の色が少しずつ変わっている所もよく観察していると思いました。



題名：がんばった徒競走

恵庭市

3年

◎足の曲がり具合と、腕の向きに気をつけて描くのが難しかったけれど、頑張って描けました。色が濃くならないように、水の量に気をつけて塗ったことも頑張りました。

🍎運動会の徒競走で一生懸命走る姿を、正面からの角度で描きました。表情や腕、足の動きの描き方に気をつけて、元気のいい作品に仕上がりました。



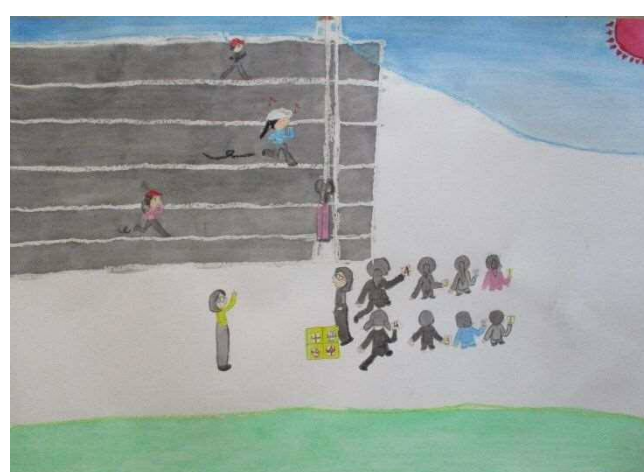
江別市

4年

題名：プールのテスト

◎この絵はプールのテスト中の絵です。きんちょうしながらプールに飛びこんで、バタフライをしました。速ければ速いほど飛び級するので、必死に足を動かしている様子です。

🍎プールの底の線や天井の旗など、詳細に描けているなあと感心します。プールの水しぶきから必死に泳いでいる様子が伝わってきます。 さんの構想の良さとこのびのびとした表現が光っている作品です。



江別市

4年

題名：初めて審判係をした運動会

◎新型コロナウイルスのえいきょうで、延期になったり、マスクをつけてきよりとったり、色々大変な運動会でした。私は、審判係の仕事をしました。徒競走でゴールした人にカードを渡しました。とても貴重な経験だったと思います。

🍎走っている子ども、審判係の子ども、それぞれの子どもたちの動きがよくわかる絵です。1位でゴールした子がうれしそうに鼻歌を歌っているところがいいですね。 さんの丁寧で根気強い作業が光っている作品です。



題名：海で遊ぶ犬

恵庭市

4年

◎学校を作ろうと思ってペットボトルの上に液体粘土をしみこませたタオルをかぶせ、いろいろな形にしていたら、耳の長い犬に見え、予定を変えました。かわいくできて満足です。  
😊たくさんの材料を持参し、やる気満々の様子でした。黙々と試行錯誤をくり返し、時間ぎりぎりまで粘って制作した作品です。他の子とは、ひと味違う布の使い方が魅力です。



題名：花火

恵庭市

4年

◎夏休みに家族で花火をしました。けむりがたくさん出てけむたかったけれど、きれいで楽しかったです。妹も楽しそうにしていました。  
😊もくもくとたくさん出ていたけむりやろうそくの炎の柔らかな明るさをどのように表現するか、試行錯誤しながら描き進めていました。2人の表情から、夏の思い出の楽しさが伝わってきます。



江別市

6年

題名：心に虹がかかる時

◎物語の最後、主人公が雨を降らせるシーンを想像しながら読んでいる私。切ないけれど、嬉しい気持ち。虹の彫り方を工夫して、きれいに表現できました。  
😊自分が生き生きと輝いている場面を版画に表しました。裏彩色の技法を使うことで、頬に差した赤味や、色鮮やかな虹が表現され、物語の世界に心躍らせる様子が見事に表現されています。



題名：緊張の一瞬

江別市

6年

◎これは卓球の決勝で「あと一点で優勝という場面で、緊張しながらサーブを打つ瞬間」を描きました。本当は明るい体育館だったけど、緊張感が表れるように光や陰の表現を工夫しました。  
😊「12歳の自分を未来の自分に伝えよう」と、自分が輝く場面を版画に表しました。一瞬の緊張感を構図や陰影の工夫によって表しています。瞬間をとらえる力や細部の表現が素晴らしい作品です。

# 小・中学校作品



江別市  
6年  
題名…シャトルを待つ私

- ◎楽しかったバドミントンをしている場面です。「楽しさ」と「速さ」が伝わるように表情や背景を工夫しました。特に目の周辺を細かく丁寧に彫りました。自分の納得のいく出来になりました。
- ◎「12歳の自分を未来の自分に伝えよう」と、自分が輝く場面を版画に表しました。さんは構図や表情、光と陰の表現など細部までおもしろい込めて作品を仕上げました。ぜひ、将来この作品を手に取り、小学校時代を想起してもらいたいものです。



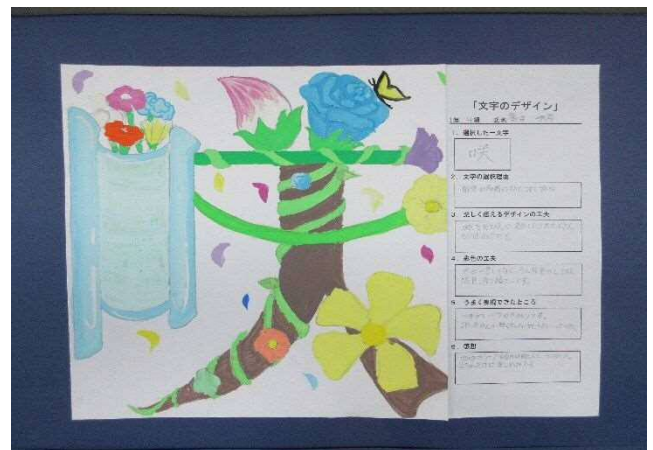
恵庭市  
2年  
題名：おちばにかこまれて

- ◎犬の散歩に行った時に公園で見た景色を描きました。絵の具を1色ずつ重ねて落ちている落ち葉を表現しました。絵の具を指でこすり、トントんと押すところが楽しかったです。
- ◎とろりん粘土に絵の具をまぜ、一色ずつ重ねて塗っていました。最後はクレヨンで模様を描き足し仕上げる姿が印象的でした。秋の公園を表現する色使いがとても素敵です。



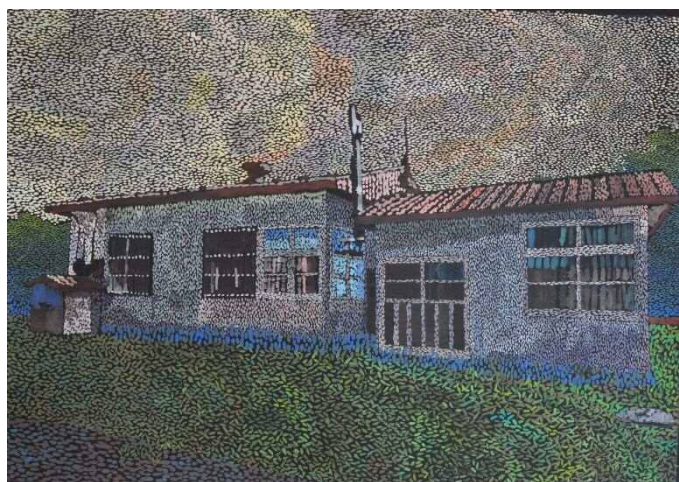
千歳市  
4年  
題名：1年生の時に飼っていた犬

- ◎忘れられない思い出というテーマで描くことになったので、1年生の時に飼っていた大事な犬を思い出して描きました。今は、引っ越して会えないけれど、また会えるとうれしいです。
- ◎1年生のころに大切にしていた犬を思い出し、楽しそうにしている様子がよくわかります。絵の具も慎重に塗っている様子が印象的でした。表情や、背景の色作りの工夫に表れていますね。



恵庭市  
1年  
題名：文字のデザイン

- ◎私は「咲」という文字を選択しました。デザインの工夫は口偏を花瓶に見立てたり、花が咲くという意味があるので、たくさん花を散りばめたことです。また、上手くいったところはつばみの塗り方です。
- ◎たくさんの種類の花が大小色とりどりに描かれ、とても明るくて楽しい作品になりました。偏を花瓶に見立てた発想がとてもよいです。色使いや筆の使い方を工夫して丁寧に仕上がっています。



千歳市                      1年  
題名：昔の給食室

◎昔、学校の横に給食室があったそうだ。来年にこの給食室が取り壊されと聞いた。これまで、先輩たちがこの給食室で作られた給食にお世話になった。感謝と思い出を刻むように描いていった。

🍌紙に黒いジェッソを塗って、その上にポスターカラーの点描で描いた。夕方のたそがれどきを想定して絵に描いていた。



新篠津村                      2年  
題名：ライトン

◎この作品は、自分の特徴を織り交ぜて作ったものです。キャラクターをつくる、となった時にまず頭をよぎったのが動物でした。しかし、どの動物も生で見たことがほとんどなく、唯一家で飼っていたハムスターにすることにしました。すべてがミニマムですが、そこもかわいさを引き出す要素として成り立ったと思っています。元は、四つ足の動物をいかに自立させ、人間らしさを目指していくかを考えて実践しました。

🍌ポージングのこだわり、好きなもの・自分の要素のキャラクターデザインへの取り込み方、どれも作者のこだわりを感じます。今にも動き出しそうな感じがしていいね！



千歳市                      3年  
題名：急にうれしい事があったとき

◎部品を作ってそれをどこに置くのかが、かなり迷いました。花火っぽい感じにしてパッと「うれしい！」っていう気持ちを表しました。

🍌いつも穏やかな青木さんですが、感情の表現はパッと華やかで、見ていて楽しい気持ちになります。急にうれしいことがあった、というのを花火に例えるセンスが素敵です。



千歳市                      3年  
題名：自分の感情

◎自分のうれしさや楽しさを表現するために、明るい色を多くして作りました。

🍌いつも他の人が思いつかないような大胆な発想で作品をつくる      さんらしい工夫が目をはく作品です。明るい色だけじゃないのが面白いですね。



千歳市

3年

題名：私の幸せ

◎私は「自分の部屋で寝るとき」や「おいしいごはんを食べているとき」、「好きな曲を聴きながら温かいお湯につかっているとき」に幸せを感じる。

◎日常の何気ないことに感じている      さんの幸せですが、こうして様々な色や形にしてみると、一つひとつかけがえのないものに思えてきます。



千歳市

3年

題名：向上心

◎左下をポイントに上にのぼっていくイメージで向上心を表した。色々な困難もあるので、しずく型で色を混ぜたパーツを使った。楽しいことだけではないのが幸せだと思った。

◎「楽しいことだけが幸せじゃない」という言葉通り、明るいだけじゃない表現がとても深くていいですね。      さんらしいガッツとパワーを感じる作品です。



千歳市

3年

題名：幸せのかたち

◎明るい色を多く使い、明るい印象をあたえるようにしました。青い所は少し気持ちが下がっている時を表現しました。

◎1年生のとき「金曜から月曜の気持ちの変化を色で表現する」という課題で      さんが全ての曜日をピンクにしているそのポジティブさに驚きましたが、この作品からも伝わります。



千歳市

3年

題名：テストが終わった時の気持ち

◎「テスト期間～テスト中～6時間目の解答の回収後、挨拶までの心情」を表したものです。左下にあるのは絶望と焦りが最後の教科終了の挨拶で全て流れていく様子です。

◎テストというものがいかに大変かよく伝わってきます。感情の揺れが色々な色、技法、形で表現されていて、とてもドラマチックな印象です。受験も頑張ってください！



北広島市                      2年

題名：シュート

◎服を少しなびかせ、もっと速さや風をうけている表現をだすために前髪に少しだけアクセントをつけました。いきおいを出すために少しだけ前のめりにしました。

🌟ボール自体は無くても、これから左足で蹴る様子が体のひねりから感じられます。一瞬の緊張感を出すために試行錯誤しながら制作していました。



北広島市                      2年

題名：転ぶ瞬間

◎工夫した点としては、躍動感を出すために服のそでを立てたり、手を開いて、前に転んでしまったところをつくることができましたと思います。

🌟前のめりになって今にも転びそうな体を表しており、手からも驚きや焦りが感じられます。重心のバランスをとりながら意欲的に制作していました。



北広島市                      2年

題名：遅刻

◎つい最近遅刻しかけたので走らせようと思いつきました。ただ、所々現実ではありえない人体の構造になっていますが、躍動感あふれる作品になったと思うので見てください。

🌟「躍動感」をテーマに、自分の身近な経験を元に作品づくりを行っていました。風を受けた髪の毛の動きや、制服の動きに「一瞬」ととらえようとする意志を感じます。



北広島市                      2年

題名：ブレイクダンス！

◎ブレイクダンスの躍動感を出すためにジャケットやフードを下にたらし重力の感じを出しました。ポーズもダイナミックな動きに見えるように工夫しました。

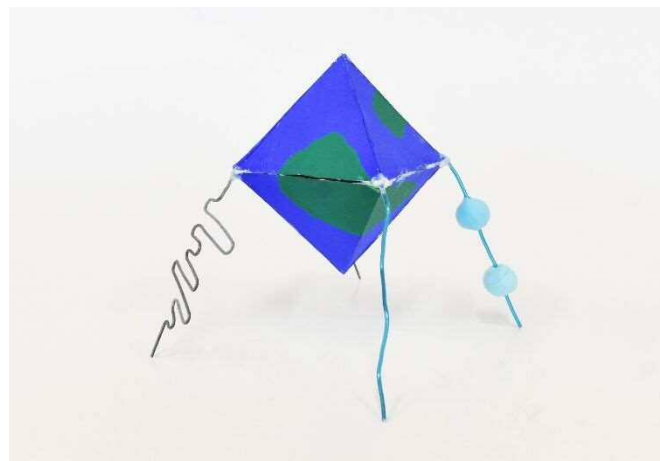
🌟勢いのある場面を選び、身軽さの中にもきちんと重力を感じさせるよう服の動きに特に力を入れて取り組んでいました。緊張感のある構図です。



北広島市                      3年  
題名：にじの遊具

◎幼稚園児や小さな子どもたちは虹に登ることができると考えている人が多いと思います。そんな体験ができるように虹の道を下が透けるように工夫しました。

🌟パブリックアートのマケット制作で、子どもも遊べる遊具として提案。実際に使ったときをイメージして素材を変えるなどの工夫が多くありました。



北広島市                      3年  
題名：いのち

◎地球をイメージしてつくりました。あえてビル街に設置することで、色合いや形の個性がより引き出せると思います。現在の緑の少なさや自然を大切にという想いを込めています

🌟パブリックアートのマケット制作ですが、テーマがしっかりとされていて、ぶれずに最後までつくっていました。あえて丸じゃない、統一されていない支柱にも想いが感じられます。



北広島市                      3年  
題名：ゆめ

◎イメージは夢の国にある扉。都会の中に設置したい。息づまる空間の中に「安らぐ」とは違うけれど、なんだかワクワクするような、そんなエッセンスを加えたいと思う。

🌟パブリックアートのマケット制作で、「仮想の世界」と「幼い頃のおもいで」という2つの想いを作品に込めて、丁寧にたちづくっていました。



北広島市                      3年  
題名：コンセント

◎待ち合わせ場所になるようなビルの中の広場や駅などに設置したいです。町のシンボルになるようなものをつくりました。針金が光るような仕組みにしたいなと思いました。

🌟パブリックアートのマケット制作で、実物のコンセントをよく観察しながら制作していました。小さなものが大きくなる面白みを想像しながら試行錯誤していました。



北広島市

3年

題名：くも

◎いつもは空にしか無い雲を自然の中に置くことで、空間を明るく変化させたいです。空に浮かぶ雲は全て白いですが、色がついた雲があっても面白いなと思い、つくりました。

☺パブリックアートのマケット制作の中で、雲の柔らかいフォルムにこだわって丁寧に作り上げていました。



北広島市

3年

題名：大きなかぶ

◎設置したい空間はビル街で、コンクリートの面から生えていきます。高い建物が建ち並ぶ中で、あっと目をひくものがあつたら少し楽しくなるんじゃないかと思ったからです。

☺パブリックアートのマケット制作。慣れ親しんだ物語「大きなかぶ」がコンクリートから生える発想が面白いです。形に表すために試行錯誤を繰り返していました。

## 【編集委員／推進委員】

千歳 秋元のぞみ（千歳市立北栄小学校）  
 恵庭 本間 洋子（恵庭市立若草小学校）  
 北広島 速水 浩子（北広島市立大曲小学校）  
 江別 中村ちはる（江別市立野幌大麻西小学校）  
 石狩 小柳 綾香（石狩市立生振小学校）  
 当別 佐伯 晶宣（当別町立西当別小学校）

## 【編集委員／事務局】

部長 千葉 道子（千歳市立緑小学校）  
 副部長 村井 宏子（恵庭市立若草小学校）  
 事務局長 中村 悠子（新篠津村立新篠津中学校）  
 事務局次長 江田 充子（恵庭市立恵庭中学校）  
 研究員 大須賀智香（恵庭市立恵み野旭小学校）  
 研究員 佐藤 博行（千歳市立千歳中学校）  
 教育課程代表 大槻 力也（石狩市立石狩双葉小学校）  
 教育課程代表 樋渡 真紀（石狩市立花川南中学校）

## あとがき

今年度は、コロナ禍の活動ということもあり、各市町村1名ずつの編集委員を立てずに、推進委員と役員が編集委員となり、編集作業を進めてきました。事務局にデータを送付する方法を取ることで、市町村部会で集まることが難しい部会活動下でも作品を集めることができました。届く作品データを開くたび、児童生徒たちがつくった素敵な作品たちとその作品に込められた思いで胸がいっぱいになり、全然編集作業が進んでいないということも多々ありました。大変な年ではありましたが、子どもたちの豊かな制作が確かにそこにあったことを実感でき、嬉しくなりました。今回掲載させていただいた作品は、図工美術に関わる先生方が日々の実践で児童生徒の良さを引き出し伸ばされた作品の数々です。ページの関係上、カラーのページ、白黒のページに分けさせていただきましたが、できればどの作品もカラーでの掲載とさせて頂きたかったという思いでいっぱいです。ぜひ、これからの授業にお役立て頂ければ幸いです。また、次年度の石狩の作品集に向けて、本年同様、子どもたちのすてきな作品を一つでも多く掲載できるように各校の実践を何卒よろしくお願いいたします。令和3年度も、ぜひ皆様からたくさんのお声をいただき、さらにより作品集へと変えていけたら、と思います。

石教研図工美術部会 事務局 中村 悠子

## 石狩管内 子どもの学びを見つめる「石狩の作品集」第25集

発行日 2021年1月

編集 石狩管内教育研究会 図工美術部会 石狩教育研修センター教育研究所

発行 石狩教育研修センター

〒061-1112 北広島市共栄315番地

TEL 011-373-0880 FAX 011-373-1542



